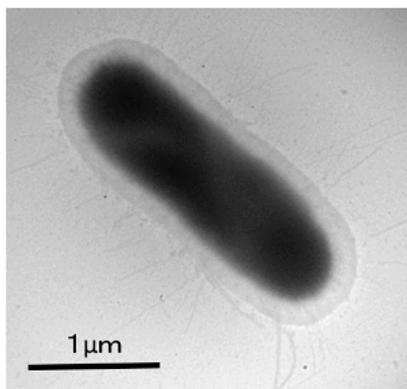


# サルモネラ症に注意しましょう

サルモネラ症とは、サルモネラ属菌と呼ばれる細菌によっておこる下痢や敗血症です。毎年、日本全国で多く発生しますが、昨年度、管内で4件の発生がありました。

## サルモネラ属菌とはなんですか？



動物衛生研究部門HPより

動物の腸管に存在し、たくさんの種類があります。牛や豚、鶏などの家畜に下痢や敗血症、流産などを引き起こすものだけでなく、人の食中毒の原因になるものもあります。特定の血清型（ダブリン、エンテリティディス、ティフィムリウム、コレラエスイス）が届出伝染病に指定されています。

## どんな症状ですか？

血清型や家畜の種類・年齢などにより症状が異なります。

食欲不振、元気消失、下痢症状、発熱、敗血症による死亡だけでなく、腸炎による発育不良を引き起こす場合があります。

## どうすれば発生は予防できますか？

まずは、飼養衛生管理基準を遵守しましょう。

□導入した牛（預託後戻ってきたものも含む） → 一定期間隔離する

□飼養環境や器具 → 洗浄消毒を徹底し、乾燥させる

□長靴や手指 → 洗浄消毒を徹底する

（踏み込み消毒槽はきれいに管理しましょう）

□他の農場で使用した作業着は、洗濯してから使用する

□ネズミやハエなど → 駆除する

□野生動物など → 牛舎だけでなく飼料置き場にも入り込まないようにしましょう



近年発生があった農場や、導入が多い農場はワクチンを使用しましょう。

## 発生してしまったら・・・

まずは、これ以上感染を広げないようにしましょう。

□菌が分離された牛は、隔離しましょう

□症状がある牛(熱がある、下痢をしている)は、すみやかに検査をしましょう

□畜舎の清掃・洗浄・消毒を確実にしましょう

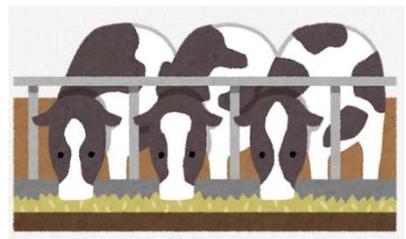
(飼槽や水のみ場なども、定期的に清掃・消毒をしましょう)

□生菌剤を投与、増量しましょう

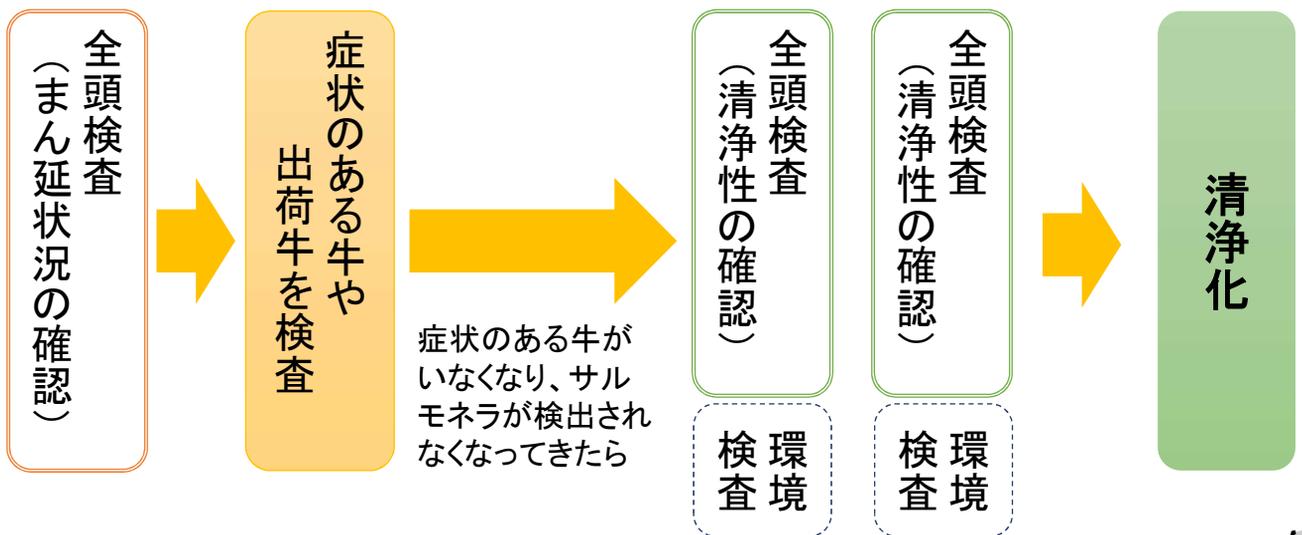
(まずは、動物用医薬品として販売されている生菌剤を使用しましょう)

□薬は、獣医師の指示に従って適切に使用しましょう

(耐性菌が増えないようにしましょう)



## 発生後の検査の流れ(例)



## 牛を出荷したい・農場から移動させたい場合は・・・

他の農場に広まらないようにするためにも、症状が治まっても検査をしてから出荷するようお願いいたします。検査には、3～5日程度必要です。予定が決まったら、早めに御相談ください。

## 検査に関するお問合せは・・・

栃木県県北家畜保健衛生所 防疫課

TEL:0287-36-0314 FAX:0287-37-4825